

かんじ

漢字（かせき・しき・ちょうめ・おんど）

たしかめ いっしょに やってみよう（2もん）

きょうの
めあて

かんじ ば しき ちょう ど
漢字「化・式・丁・度」を読んで書こう

きょうの漢字

化

音 カ
訓 ば（ける）
かせき ば
化石・お化け

式

音 シキ
しき けいさんしき
式・計算式

丁

音 チョウ・テイ
いっちょうめ てい
一丁目・丁ねい

度

音 ド
こんど おんど
今度・温度

いっしょにやってみよう

れい 「おんど」を漢字で書くと？

① 「おん」は温

② 「ど」は度

③ 答え 温 度

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 化石を見つける。

(2) 計算式を書く。

(3) 三丁目のかど。

(4) 今度の日曜日。

② □に漢字を書こう。

(1) お ば けの話。

(2) 九九の しき を書く。

(3) 一 ちょう 目の公園。

(4) 気温が三十 おん になる。

答え 1. (1) か (2) しき (3) ちょう (4) ど 2. (1) 化 (2) 式 (3) 丁 (4) 度

せつめいぶん 少し長い説明文を読もう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

「はじめ」「中」「おわり」に気をつけて、説明文を読もう

ぶんしょう 文章を読もう

- ① しょくぶつのたねは、いろいろな方法で、遠くへ運ばれる。
- ② たんぽぽのたねには わた毛がついていて、風にのって 遠くまでとんでいく。
- ③ オナモミの実には とげがあり、動物の毛や人の服にくっついて運ばれる。
- ④ カエデのたねには、羽のようなものがついていて、くるくる回りながら、風で 遠くまで運ばれる。
- ⑤ このように、しょくぶつは、たねを遠くへ運ぶくふうをしている。

いっしょにやってみよう

れい 「はじめ」「中」「おわり」は、どの段落？

- ① ①は話のはじめ。
⑤は「このように」。
- ② ②③④は れいを
ならべている。
- ③ はじめ①
中②③④ おわり⑤

やってみよう

できたところまでで OK

① オナモミの実は、どうやって運ばれる？

- ☐ 動物の毛や服に くっつく ☐ 風にのる

② 風を使って運ばれるたねを2つえらんで○をつけよう。

- ☐ たんぽぽ ☐ オナモミ ☐ カエデ

③ この文章でいちばん伝えたいことは？

- ☐ たねを遠くへ運ぶ しょくぶつのくふう ☐ オナモミの とげ

答え 1. 動物の毛や服に くっつく 2. たんぽぽ・カエデ 3. たねを遠くへ運ぶ しょくぶつのくふう

詩を書こう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

見たもののようすや音を^{あつ}集めて、^し詩を書こう

まず、たしかめよう

- 詩は、行を分けて書く。短い言葉でよい。
- 音の言葉(ぽつぽつ)や、たとえ(～みたい)をつかうと、ようすがうかぶ。

いっしょにやってみよう

れい 「雨」の詩

- 言葉を集める：
ぽつぽつ・まるい
- たとえる：
ビーズみたい
- 行に分けて
ならべる。

やってみよう

♡ できたところまででOK

1 詩につかえる「音の言葉」を2つえらんで○をつけよう。

☐ ころころ

☐ さらさら

☐ ゆうがた

☐ まどの外

2 ()に、たとえの言葉を書こう。

まるい月は()みたい

3 雲・風・花・雨などから一つえらんで、3行の詩を書こう。

答え

- ころころ・さらさら
- 例：ボール(おだんご・ボタン)
- 例：かぜ／さわさわ 木の葉を ゆらして／どこまで行くの

かんじ

漢字（ふえ・しなもの・ふく・じゅう）

たしかめ いっしょに やってみよう（2もん）

きょうの
めあて

かんじ 漢字「^{ふえ}笛・^{しな}品・^{ふく}福・^{ゆう}由」を読んで書こう

きょうの漢字

笛

音 テキ
くん 訓 ふえ
ふえ くちぶえ
笛・口笛

品

音 ヒン
くん 訓 しな
しなもの さくひん
品物・作品

福

音 フク
こうふく ふく かみ
幸福・福の神

由

音 ユウ・ユ
じゅう りゆう
自由・理由

いっしょにやってみよう

れい 「くちぶえ」を漢字で書くと？

① 「くち」は口

② 「ぶえ」は^{ぶえ}笛

③ 答え 口 笛

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 口笛をふく。

(2) 作品を見る。

(3) 福の神。

(4) 自由に書く。

② □に漢字を書こう。

(1) たて^{ぶえ}□。

(2) 新しい^{しな}□^{もの}物。

(3) 幸^{ふく}□^{こう}な時間。

(4) 理^{ゆう}□を書く。

答え 1. (1) ぶえ (2) ひん (3) ふく (4) ゆう 2. (1) 笛 (2) 品 (3) 福 (4) 由

感想をもとう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

かんそう
お話を読んで、自分の感想をもとう

お話を読もう

- ① りすのルルは、きれいなどんぐりを一つ見つけた。ぼうしの形が気に入って、ずっと大事^じにしていた。
- ② ある日、友だちのねずみが「そのどんぐり、いいね。」と言った。ルルは少し考えてから、どんぐりをねずみにあげた。ねずみは、とてもよろこんだ。
- ③ ルルは、手の中が からっぽになったのに、なんだか心が あたたかかった。

いっしょにやってみよう

れい かんそう
感想は、どう書く？

- ① 心にのこった
ところを えらぶ。
- ② なぜ そう
思ったか 考える。
- ③ 「～と思った。
わけは～。」

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① ルルは、ねずみに何をあげた？

- ☐ どんぐり ☐ ぼうし ☐ 木の実^みのジュース

② さいごのルルの気持ち^もを表す言葉^{あらわ}を、お話の中から書こう。 心が ()

③ このお話を読んで、自分が思ったことを書こう。

答え

1. どんぐり
2. あたたかかった
3. 例：ルルはやさしいと思った。ねずみがよろこんで、ルルもうれしくなったからだ。